

2024年度 北見縣高等学校シラバス

〔教科〕 【科目】	地歴公民科・歴史総合	1年	2単位	教科書	山川出版社 歴史総合	副教材等	履修対象・ 使用教室等	各教室	
教科・ 科目の 目標	(1) 社会的現象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを旨とする。								
評価の 観点	知識・技能	思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度				
	・近代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とそ の中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸 課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。 ・諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果 的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色など を、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつなが りなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察 したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構 想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、 それらを基にしたりする力を養う。			近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視 野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・ 多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我 が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さに ついての自覚などを深める。				
評価 方法	* 単元などの授業内容のまとまりごとに「評価の観点」に基づいた観点別評価を行い、〔A:「十分満足できる」状況 B:「概ね満足できる」状況 C:「努力を要する」状況〕とする。 * 単元などの観点別評価に基づいて、学習全体の総合的な評価を行ったものを「5段階の評定」とする。								
評価 資料・ 評価 比重 (100点換算)	評価資料等	予定回数・内容等			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	単元テスト	8回を予定、単元ごとにテストを行う。			80	20			
	各課題解決に向けての調査	単元ごとの課題に対して解決を考察し、発表する			20	70	10		
	授業態度	普段の態度と提出物の取り組み				10	90		
	〔観点別配分%〕			(3 観点の比重を%で示しています)					
月進行 (計画)	【単元名】 学習項目名	配当 時間 (計画)	学習内容・目標 (到達点) など			主な評価資料		評価の重み付け(◎○)	
4 5	諸地域世界の形成 歴史の扉 近代化への問い 近代化と私たち	12	・近代化に至るまでの諸地域について理解する。 ・身近な事象が、時間的な推移や空間的な結びつきの中で歴史とも 結びついていることを理解する。			単元テスト	◎	○	
				授業態度		○	◎		
6 7	近代化と私たち 近代化と現代的な諸課題 国際秩序の変化や大衆化への問い 国際秩序の変化や大衆化と私たち	13	・16世紀からの20世紀までの世界の結びつきを理解する。 ・自由・制限、開発・保全の観点からこれまでの学習を振り返り、現代 的な課題を考察する ・2つの大戦に関連する世界の動きを理解する。			単元テスト	◎	○	
				レポート	○	◎	○		
				授業態度		○	◎		
8 9	国際秩序の変化や大衆化と私 たち 国際秩序の変化や大衆化と現 代的な諸課題	4	・対立・協調、平等・格差、統合・分化の観点からこれまでの学習を 振り返り、現代的な課題を考察する			単元テスト	◎	○	
				レポート	○	◎	○		
				授業態度		○	◎		
10 11	グローバル化への問い グローバル化と私たち	17	・冷戦以降の世界の展開を理解する。			単元テスト	◎	○	
				レポート	○	◎	○		
				授業態度		○	◎		
12 1	現代の諸課題	11	・現代の諸課題について原因を考察し、どのように対応していけばよ いか理解する。			レポート	○	◎	○
				授業態度		○	◎		
2 3	現代的な課題の形成と展望	13	・歴史的な見方や考え方を生かして、現代の諸課題を考察する方法 を理解する。 ・現代における課題の解決に向けて、歴史的な見方や考え方を活用 することが有効であることを理解する。			レポート	○	◎	○
				授業態度		○	◎		
学習の アドバイス	プリントを配布します。プリントをまとめておくファイルを用意してください。 教科書は必ず持ってくるようにしてください。								